

<病院だより>

医療法人財団喜望会 谷向病院

理事長 谷 向 茂 厚

病 院 概 要

施設名称：医療法人(財団)喜望会 谷向病院

開設者氏名：谷向 茂厚

病 院 長：戸田 省吾

開設年月日：昭和25年10月1日

敷地面積：3178.55m²建築面積：1929.54m²延べ床面積：7682.99m²病 床 数：180床（一般32床 療養60床
結核28床 障害者60床）診 療 科：内，外，呼内，消内・外，麻，肛，
皮

所 在 地：郵便番号 663-8215

兵庫県西宮市今津水波町6-30

（阪急，阪神今津駅下車徒歩3分）

（国道42号線 名神高速西宮入り
口 北側）

電話番号：0798-33-0345

病 院 の 歴 史

故谷向茂峻が大正11年谷向医院を開設，昭和3年20床の内科谷向病院に，昭和25年には44床の医療法人（社団）喜望会谷向病院となり，昭和26年財団に改組しました。その後一時は結核病床130床を含む207床に増床しましたが昭和59年結核患者の減少に伴い150床まで縮小し，平



成17年より3年間の期間をかけて病院の全面立て替えを行い平成20年より180床の病棟での診療をおこなっています。

診療内容

当院は一般病棟32床、結核病床28床、障害者病床60床、医療療養病床60床で診療を行っています。

一般病床は10：1の看護体系で主に、消化器、呼吸器の急性期、亜急性器疾患を扱っています。

療養病棟は立て替え時には介護保険適応病棟として設計したため、比較的ゆとりのある環境で在院日数を気にせず緩和ケアや、病状の安定した長期人工呼吸管理を必要とする患者様のケアを行っています。

結核病棟はフロア全体が陰圧化されており、病棟内の空気はHEPAフィルターを通して屋外に排気されます。結核患者数は減少していませんが、在院日数の短縮に伴い建て替え当時60床であったものを28床に縮小し、一般病棟32床とナースステーションを共通化した1看護単位2病棟のユニット病棟に転換しました。

障害者病棟は一般病と同じ10：1の看護体系で、療養病棟では対応困難な重症の人工呼吸管理を要するような患者様の受け入れを行っています。

現在全ての病棟で人工呼吸器管理を行っており、病院全体で常時約30台の人工呼吸器が稼働しています。

最近の取り組み

今回のCOVID-19に対しては4床室2部屋を陰

圧化、1床の陰圧個室を新規に増築、更に現在個室2床と4床室2室の陰圧化工事を進めています。

元々結核対応ため陰圧化された第二手術室や、急速排気のできる放射線部門があり、早い時期からCOVID-19の受け入れを行っていましたが、更に補助金をいただき、駐車場から直接院内を経由せず撮影室に入る事の可能なCT室を増設、院内の人工呼吸器もネイザルハイフローの可能なモナールT-60に切り替えました。

最後に

病院全体では主に慢性期疾患が主体ですが、ある程度の重症患者に対応できる障害者病棟を有する事、兵庫県唯一の民間の第二種感染症指定医療機関である事などの特徴を生かしこれからも地域医療に少しでも貢献したいと考えております。

尚、本年4月1日より、津市民病院前副院長で、私が研修医時代からお世話になっている旧第二外科の先輩である戸田省吾先生に院長をしていただいております。

当院は京都からは離れておりますが、名神高速道路の西宮インターチェンジに面しており、京都南インターチェンジからですと1時間弱しかかかりません。又、甲子園球場まで徒歩10分ほどのところに位置しておりますので野球観戦などの折にはぜひお立ちよりください。

(文責：理事長：谷向茂厚：昭和62年卒)